

部長会議 報告書

平成 31 年 2 月 19 日(火)

3 階第 2 会議室 9:15~10:10

1. 議題・課題等提案

(1) 桑名・員弁広域連合

桑名広域環境管理センターの管理運営について

⇒ 資料に基づいて説明（広域連合事務局長）

(意見・質疑等)

- ・ 包括的民間委託へ移行後、ソウインコンポの取扱いはどのようになるのか？民間アイデアも検討してはどうか？（総務部長）
→ソウインコンポについては、地域還元の拡大を図りたいと考えているが、肥料化にはコストもかかることから、提案があれば活用していきたい。（広域連合事務局長）
- ・ 今後、長寿命化に向けた大規模改修が必要となってくるが、検討状況は？（市長）
→現在、2 系統で処理を行っているが、今後、下水道の整備が進み搬入量が減れば、1 系統での処理を進めながら、もう 1 系統は改修を進めるといったことが可能になる。下水道の整備状況も踏まえ、2~3 年後から検討を進めていきたいと考えている。（広域連合事務局長）
- ・ 余剰汚泥の焼却、場外搬出の検討も必要とのことだが、焼却処分の受入は可能か？（市長）
→現在建設中の焼却施設は、人口推計を考慮し処理能力を設計している。搬入量によっては、オーバーすることとなる。（広域清掃事務局長）
- ・ 月毎の処理量の状況は？企業からの搬入による影響などはあるのか？（産業振興部長）
→観光施設等の企業は、経済状況により搬入量の増減は多少あるが、月毎の大きな差は無く、10 月が多く、1 月が少ないという傾向にある。（広域連合事務局長）
- ・ 包括的民間委託によるコスト的な効果は？（地域コミュニティ局長）
→5 年間で約 14 億円の債務負担行為を予定しており、約 2.8 億円／年のコストとなるが、管理運営面、費用面での導入効果が見込まれる。今後、事務量の減に伴う業務体制の見直しにより、人件費の削減も見込まれる。（広域連合事務局長）

(2) 桑名広域清掃事業組合

ごみ処理施設整備運営事業について

⇒ 資料に基づいて説明（広域清掃事務局長）

(意見・質疑等)

- ・ ごみ処理業務を S P C（特別目的会社）に引き継いだ後、組合の業務・体制はどうなるの

か？（産業振興部長）

→不燃・粗大、プラスチックごみの処理は、継続して業務を行うが、RDFに関する業務は廃止となる。可燃ごみの焼却については、今後、モニタリング（履行確認）の項目や基準等を整理していく予定であり、技術資格や人員等体制の検討を進めていく。（広域清掃事務局長）

2. その他

①平成31年度(2019年度) 部長会議 予定表【案】(市長公室)

次年度の部長会議の日程について、予定表(案)を作成したので確認をお願いする。原則として第1・第3火曜日の開催となるが、5月については、10連休を踏まえ、第2・第4火曜日の開催としている。(市長公室長)

②辞令交付について(市長公室) *資料なし

「桑名市辞令式に関する規程」を平成31年1月に改正し、1月1日以降の昇給辞令は紙ベースでの交付を省略しているが、同様に、4月1日付けの辞令交付については、新規採用職員のみ継続し、これ以外については紙ベースでの交付を省略させていただく予定である。

(市長公室長)

③全国瞬時警報システム(Jアラート)の全国一斉情報伝達試験について(市長直轄組織)

2月20日(水)にJアラートの全国一斉情報伝達試験が行われる予定である。議会開催中につき議場内は放送をしないよう設定するが、5階大会議室(確定申告会場)等庁内は館内放送が流れるので、周知をお願いする。(統括監)